

新年あけましておめでとうございます。

昨年未曾有の台風被害が県内各地でありました。そうした中、会員の皆さまには被害からの復旧や支援にご尽力いただいていることに心から感謝申し上げます。

本研究所としても、このたびの災害を教訓として、「地域再生」の視点から、積極的に学習と交流を進めていく所存です。これからも皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

理事長 安井幸次



pixta.jp - 57793085

## 旧市町村単位でみた長野県内の人口動向

平成大合併の影響を検討する一助として

理事 傘木宏夫（NPO地域づくり工房代表）

平成大合併から約15年の年月を経ようとしている。いっそう進む人口減少・少子高齢化の中で、総務省「自治体戦略2040構想」は「圏域マネジメント団体」のように基礎自治体の権限や機能を縮小する方向を示している。これに対する日本弁護士連合会の意見書(2018年10月24日)が指摘するように、平成大合併の総括が伴わないまま、地方自治の本旨をないがしろにする政策が打ち出されている。

一方で、合併ないし非合併を選択した背景には、各地域における事情があり、単純な比較は不可能である。それぞれの地域において、住民自らの手で調査し議論することで、適切な評価が可能になる。そのような議論の一助として、人口動向に関する資料を作成した。

### ■調査の方法

総務省ホームページより国勢調査の2000(H12)年と2015(H27)年の市町村別人口を比較した。2015年分については丁目別人口を参照することで合併前の旧市町村人口を把握した。

表1は県内全市町村(旧町村を含む)の人口比較の結果である。

### ■旧市町村でみた人口増・減(表2)

最も人口が増えたのは旧梓川村で、松本市と安曇野市を構成する旧市町村での人口増が目立つ。また、首都圏に近い軽井沢町・御代田町・原村や、上伊那方面の町村で人口が増えている。

最も人口が減ったのは旧南信濃村で6割近く減少している。同じ飯田市に編入となった旧上村

も5割以上減少した。下伊那方面での人口減少が目立っている。また、長野市に編入となった市内から遠い旧鬼無里村、旧中条村、旧大岡村での減少も大きい。木曾町の中核となるはずの旧木曾福島町の人口減が大きいことも注目される。

### ■人口増減でみる旧市の求心力

表3は旧市17市でみて、人口の増えた上位5市、減った下位5市を示したものである。

平成大合併後に人口が増えたのは5市で、特に旧松本市と旧佐久市は人口増減だけでみると求心力を高めていることが伺える。

一方、減少したのは12市で、中でも合併を選択した旧大町市と旧更埴市は大きく減少した。合併によっても求心力が強まらなかった。

表1：旧市町村単位でみた人口動向

	2000国調	2015国調	差	指数
長野市	378,932	377,598	-1,334	99.6
長野市	351,133	355,901	4,768	101.4
大岡村	1,544	960	-584	62.2
豊野町	10,005	9,609	-396	96.0
戸隠村	4,938	3,499	-1,439	70.9
鬼無里村	2,333	1,393	-940	59.7
信州新町	6,093	4,319	-1,774	70.9
中条村	2,886	1,917	-969	66.4
松本市	229,033	243,293	14,260	106.2
松本市	194,538	208,227	13,689	107.0
四賀村	6,108	4,629	-1,479	75.8
奈川村	1,107	679	-428	61.3
安曇村	2,686	1,936	-750	72.1
梓川村	10,162	12,548	2,386	123.5
波田町	14,432	15,274	842	105.8
上田市	166,565	156,827	-9,738	94.2
上田市	125,365	122,528	-2,837	97.7
丸子町	25,553	21,906	-3,647	85.7
真田町	11,453	8,920	-2,533	77.9
武石村	4,194	3,473	-721	82.8
岡谷市	56,401	50,128	-6,273	88.9
飯田市	110,589	101,581	-9,008	91.9
飯田市	107,381	100,215	-7,166	93.3
上村	838	413	-425	49.3
南信濃村	2,370	953	-1,417	40.2
諏訪市	53,858	50,140	-3,718	93.1
須坂市	54,207	50,725	-3,482	93.6
小諸市	46,158	42,512	-3,646	92.1
伊那市	71,552	68,271	-3,281	95.4
伊那市	62,284	60,891	-1,393	97.8
高遠町	7,040	5,643	-1,397	80.2
長谷村	2,228	1,737	-491	78.0
駒ヶ根市	34,338	32,759	-1,579	95.4
中野市	47,845	43,909	-3,936	91.8
中野市	42,624	39,668	-2,956	93.1
豊田村	5,221	4,241	-980	81.2
大町市	33,550	28,041	-5,509	83.6
大町市	31,011	26,258	-4,753	84.7
八坂村	1,257	848	-409	67.5
美麻村	1,282	935	-347	72.9
飯山市	26,420	21,438	-4,982	81.1
茅野市	54,841	55,912	1,071	102.0
塩尻市	67,747	67,135	-612	99.1
塩尻市	64,128	64,629	501	100.8
樽川村	3,619	2,506	-1,113	69.2
佐久市	100,016	99,368	-648	99.4
佐久市	66,875	70,871	3,996	106.0
白田町	15,962	13,698	-2,264	85.8
望月町	10,675	8,828	-1,847	82.7
浅科村	6,504	5,971	-533	91.8
千曲市	64,549	60,298	-4,251	93.4
更埴市	39,402	34,485	-4,917	87.5
戸倉町	18,326	20,024	1,698	109.3
上山田町	6,821	5,789	-1,032	84.9
東御市	30,947	30,107	-840	97.3
北御牧村	5,507	4,966	-541	90.2
東部町	25,437	25,141	-296	98.8
安曇野市	92,864	95,282	2,418	102.6
明科町	9,771	8,285	-1,486	84.8
豊科町	27,079	27,524	445	101.6
穂高町	30,966	32,480	1,514	104.9
三郷村	16,519	18,043	1,524	109.2
堀金村	8,529	8,950	421	104.9
小海町	5,961	4,713	-1,248	79.1
川上村	4,908	4,607	-301	93.9
南牧村	3,540	3,408	-132	96.3
南相木村	1,584	1,005	-579	63.4
北相木村	1,025	774	-251	75.5

長野県総人口 2,215,168 2,098,804 -116,364 0.95

	2000国調	2015国調	差	指数
佐久穂町	13,622	11,186	-2,436	82.1
佐久町	8,849	7,351	-1,498	83.1
八千穂村	4,773	3,835	-938	80.3
軽井沢町	16,181	18,994	2,813	117.4
御代田町	13,412	15,184	1,772	113.2
立科町	8,609	7,265	-1,344	84.4
青木村	4,937	4,343	-594	88.0
長和町	7,807	6,166	-1,641	79.0
長門町	5,220	4,306	-914	82.5
和田村	2,587	1,860	-727	71.9
下諏訪町	23,930	20,236	-3,694	84.6
富士見町	15,392	14,493	-899	94.2
原村	7,207	7,566	359	105.0
辰野町	22,407	19,770	-2,637	88.2
箕輪町	25,661	25,241	-420	98.4
飯島町	10,895	9,530	-1,365	87.5
南箕輪村	13,404	15,063	1,659	112.4
中川村	5,475	4,850	-625	88.6
宮田村	8,692	8,821	129	101.5
松川町	14,070	13,167	-903	93.6
高森町	12,528	13,080	552	104.4
阿南町	6,232	4,962	-1,270	79.6
阿智村	7,757	6,538	-1,219	84.3
阿智村	6,183	5,415	-768	87.6
浪合村	793	550	-243	69.4
清内路村	781	573	-208	73.4
平谷村	712	484	-228	68.0
根羽村	1,380	970	-410	70.3
下條村	4,075	3,851	-224	94.5
売木村	741	575	-166	77.6
天龍村	2,239	1,365	-874	61.0
泰阜村	2,237	1,702	-535	76.1
喬木村	7,089	6,310	-779	89.0
豊丘村	7,221	6,592	-629	91.3
大鹿村	1,522	1,023	-499	67.2
上松町	6,376	4,670	-1,706	73.2
南木曽町	5,687	4,313	-1,374	75.8
木祖村	3,596	2,926	-670	81.4
王滝村	1,205	839	-366	69.6
大桑村	4,770	3,825	-945	80.2
木曽町	14,866	11,826	-3,040	79.6
木曽福島町	8,162	4,352	-3,810	53.3
日義村	2,700	2,354	-346	87.2
開田村	2,001	1,636	-365	81.8
三岳村	2,003	1,366	-637	68.2
麻績村	3,347	2,788	-559	83.3
生坂村	2,416	1,843	-573	76.3
山形村	7,706	8,395	689	108.9
朝日村	4,908	4,462	-446	90.9
筑北村	6,049	4,730	-1,319	78.2
本城村	2,230	1,731	-499	77.6
坂北村	2,204	1,712	-492	77.7
坂井村	1,615	1,287	-328	79.7
池田町	10,658	9,926	-732	93.1
松川村	9,701	9,948	247	102.5
白馬村	9,492	8,929	-563	94.1
小谷村	4,276	2,904	-1,372	67.9
坂城町	16,830	14,871	-1,959	88.4
小布施町	11,460	10,702	-758	93.4
高山村	7,776	7,033	-743	90.4
山ノ内町	15,900	12,429	-3,471	78.2
木島平村	5,513	4,658	-855	84.5
野沢温泉村	4,610	3,479	-1,131	75.5
信濃町	10,391	8,469	-1,922	81.5
小川村	3,620	2,665	-955	73.6
飯綱町	13,062	11,063	-1,999	84.7
牟礼村	7,536	6,569	-967	87.2
三水村	5,526	4,494	-1,032	81.3
栄村	2,638	1,953	-685	74.0

表2：旧市町村でみた人口増・減の上位

人口増		人口減		
1	旧梓川村	123.5	旧南信濃村	40.2
2	軽井沢町	117.4	旧上村	49.3
3	御代田町	113.2	旧木曾福島町	53.3
4	南箕輪村	112.4	旧鬼無里村	59.7
5	旧戸倉町	109.3	天龍村	61.0
6	旧三郷村	109.2	旧奈川村	61.3
7	山形村	108.9	旧大岡村	62.2
8	旧松本市	107.0	南相木村	63.4
9	旧佐久市	106.0	旧中条村	66.4
10	波田町	105.8	大鹿村	67.2
11	旧原村	105.0	旧八坂村	67.5
12	旧穂高町	104.9	小谷村	67.9
13	旧堀金村	104.9	平谷村	68.0
14	高森町	104.4	旧三岳村	68.2
15	松川村	102.5	旧檜川村	69.2

※指数は2000年を100としている。

表3：旧市での人口増・減

人口増		人口減		
1	旧松本市	107.0	飯山市	81.1
2	旧佐久市	106.0	旧大町市	84.7
3	茅野市	102.0	旧更埴市	87.5
4	旧長野市	101.4	岡谷市	88.9
5	旧塩尻市	100.8	小諸市	92.1

※指数は2000年を100としている。

表4：合併の有無による比較（町村）

合併		非合併	
旧町村 計	90.6	町村 計	91.6
旧町 計	92.4	町 計	91.9
旧村 計	87.2	村 計	91.1

表5：合併形式（対等・吸収）による比較

区分	指数
対等合併による旧町村 計	90.1
吸収合併による旧町村 計	89.2

※この記事の元となっている集計データの入手を希望される会員の方はE-Mailにてお問合せください。

np0@omachi.org

### ■町村単位でみた比較

表4は、旧町と旧村で、合併と非合併により区分して、その合計を比較したものである。

町村をひとくくりにすると、合併・非合併での違いはほとんど見られない。ところが、町と村と区別すると、合併を選択した村での人口減少が大きいことがわかる。これは、旧市町村でみた人口増の上位15位の中に6町が含まれていた(表2)ことが影響しているものと思われる。

合併後、人口減少の影響は旧村部であらわれていることが伺える。

### ■対等合併と吸収合併

市町村合併においては、その形式上、対等合併と吸収合併とがあり、それぞれの地域事情により選択された。

表5は、旧町村（旧市部を除く）の人口動向を、「対等」と「吸収」とで合計して比較したものである。その差は大きくは現れなかったが、吸収合併であった旧町村の方で人口減の傾向が見られた。対等合併の形式をとったところでも、実質的には吸収された周縁部の町村も少なくない。そのため、数字上は大きな差をなさなかったものと思われる。

### ■要因分析を各地で

平成大合併から約15年の中で旧市町村の人口がどのように変化したかをみた。国・県ともに全体として人口減少にあるとはいえ、急速に人口を減らしている市町村があることが再確認された。

今回は、合併の有無に着目して比較してみたが、大きな差としてあらわれたわけではない。合併の有無でひとくくりにして判断することは適切ではない。行政的な要因はもとより、中核的な市や首都圏との位置関係、製造業や商業の集積の有無なども考慮する必要がある。

また、合併に伴う地域の変化を把握するためには、住民生活や意識の変化などについてもアンケートや聞き取り、実地観察など、より実態に迫る調査が必要である。

いずれにしても、このようなデータが地域の現状を考える一助となれば幸いである。各地で平成大合併の総括が行われて、地域再生研究会の場で交流できることを願ってやまない。

(かさぎ・ひろお)

## 第 15 回 地域再生研究会

# 広域連合と市町村連携の今後を考える

～総務省「自治体戦略 2040 構想」への対抗軸を探る～

長野県内には複数の市町村で構成する広域連合が 10 団体（県域での連合を除く）あり、他分野にわたる事務を扱っています。実は、全国的には特異な状況で、平成大合併が他県に比べて進まなかった背景とする見方もあります。

一方、総務省「自治体戦略 2040 構想研究会」がその目玉として圏域マネジメントの推進を掲げ、市町村の団体自治を形骸化して、複数の市町村を対象とした圏域マネジメント団体を通じた中央官庁の統治を効率よく浸透させようとする方向性が打ち出されています。

こうした中、県内の広域連合の現状をどうみるのか、地域が求めている市町村連携とはどんなものなのか、各地の広域議員経験者を交えて議論しましょう。

日 時：2020 年 **2 月 4 日**（火） 午後 **2 時～4 時半**

会 場：長野大学（予定）

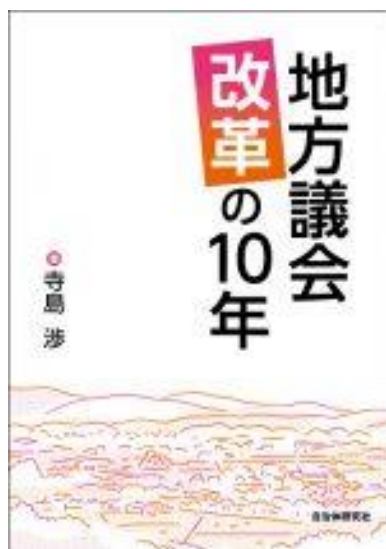
資料代：**会員無料**（非会員：2,000 円）

資料説明：傘木宏夫（理事、NPO 地域づくり工房代表）

コーディネーター：安井幸次（理事長、長野大学名誉教授）

当初昨年 10 月に開催を予定していた、台風 21 号の影響により延期したものです。前回予定されていた方にはご迷惑をおかけしました。

＜広域連合議会議員を経験された方からの話題提供を歓迎します＞



本研究所会員の寺島渉さん（飯綱町）の新刊書が好評発売中です。ご注文は事務局まで。

《定価 1,760 円→特価 **1,500 円**》

### みなさまからの投稿をお待ちしています！

手書きの原稿でもかまいません。地方自治や住民運動などをめぐる身近な話題をお寄せ下さい。お気軽に事務局にご連絡下さい。

## お見舞金お礼

台風 19 号被災に関連して、愛知県豊橋市を拠点に活動されている東三河くらしと自治研究所様より 6,000 円のお見舞金自治体問題研究所を通じてお寄せいただきました。同研究所主催の集会にて募られたものとのことです。ここに心より感謝の意を添えて、会員の皆様にご報告いたします。

見舞金は、本研究所の「地域再生研究会」において災害対策を扱う際に活用させていただき、お礼の言葉に添えて、東三河くらしと自治研究所あてにお伝えいたしました。

### 研究所だより 第 155 号

発行日：2019 年 12 月 23 日

発行者：長野県住民と自治研究所（担当：傘木宏夫）

事務局：NPO 地域づくり工房

長野県大町市仁科町 3302（〒398-0002）

Tel&Fax.0261-22-7601 E-Mail:jitiken@omachi.org

郵便振替口座 **00570-1-80805** 長野県住民と自治研究所